

南デザイン株式会社 会社概要

社名	南デザイン株式会社		
創立	1971年10月1日		
所在地	〒198-0025東京都青梅市末広町1-7-10		
資本金	4000万円	従業員数	100名
事業内容	プラスチック加工（試作～量産）		

主力製品



Minamidesign
CAD/CAM Models & Prototypes

できないは言わない。多様化するものづくりに英知を結集して臨む



ワーキングモデル制作



工場の様子



企画、設計、量産支援

作成前の課題認識

木型の製造からスタートした当社は、《出来ないは言わない》を念頭に、お客様一人一人との対話を大切に、応えていくことで発展してきた。しかし、創業当時から当社主力事業であったワーキングモデル事業がデジタル化の進展により劇的に縮小するであろうことを予測して、近年は、ビジネスモデルを受託メインから製品開発ニーズにゼロから支援するソリューション提案型に移行しつつある。創業社長の死去に伴う事業承継を機会に改めて、ビジネスモデル変革の意味を確認するため経営デザインシートの作成に取り組んだ。

作成の成果・今後の活用

成果として顧客へ提供するものについて気付きを得た。試作企業（製造業）→総合開発支援企業（サービス業）発展への道筋が改めて明確になった。今回作成した経営デザインシートを社内で共有することで顧客のみを見ていたことに気づき市場を見る重要性や得た情報を活用し営業的、技術的、リスク、知財への考え方を変化させることにより総合開発支援企業として顧客へより良いサービスを提供できる企業を目指す。

経営デザインシート(事業が1つの企業用) 南デザイン株式会社

自社の目的・特徴・事業概要

経営方針

■ 事業概要

- 開発支援事業
 - デザインモデル製作
 - ワーキングモデル製作

■ 目的・特徴(創業社長の理念・信条)

- できないは言わない、他社ではできない条件でも必ず解決する。
- 早く、きれいに、正確に
- 顧客第一主義(儲ける前に顧客に満足してもらう)

・「できないと思われることを何とかできるようフレキシブルに考える、顧客の望むサービスを提案する姿勢」が創業以来の当社の強みである。この強みを生かし、創業社長の夢だった「日本一の試作屋(モデル屋)」を更に進化させて「日本一の開発総合支援企業」を目指す。

資源

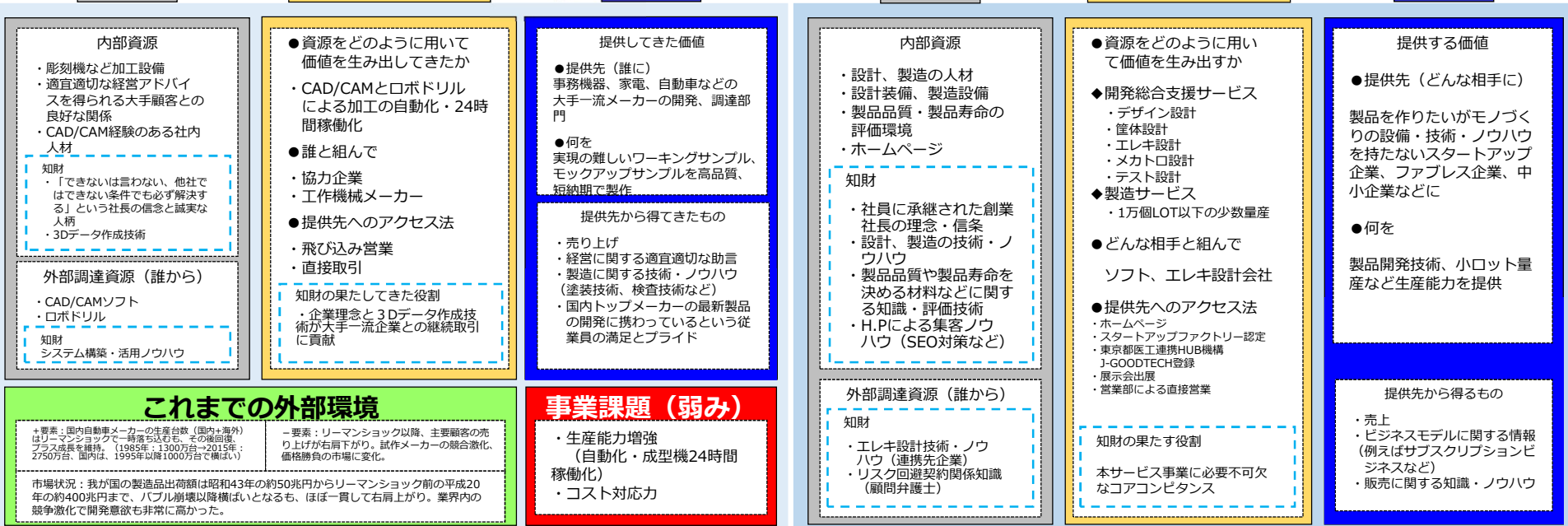
ビジネスモデル

価値

資源

ビジネスモデル

価値



「これから」の姿への移行のための戦略

これまで

これからの外部環境

+要素: 国の新規産業の創出、ベンチャーの創業・成長促進支援策

-要素: デジタル工作機の発展による試作の一般化

市場予測: 設計・開発の海外展開の進展、3DCAD化による試作回数の減少等による国内試作市場の縮小

移行のための課題

- ①設計人員の増強
- ②エレキ設計技術の獲得
- ③製品品質や製品寿命を決める材料などに関する知識の獲得
- ④ロングテールの顧客を開拓する仕組みの構築
- ⑤開発支援、量産に関わる契約上のリスクマネジメント

必要な資源

- ・設計人員
- ・エレキ設計技術者
- ・製品品質・製品寿命に関わる材料等評価環境
- ・ロングテール顧客アクセスの仕組み

知財

- ・エレキ設計技術
- ・材料等の知識
- ・製品品質・寿命の評価技術
- ・契約関係知識

解決策

- ①CAD/CAM対応できる加工技術者を再教育して筐体設計者に活用
- ②エレキ設計会社と連携して設計技術・リソース確保
- ③中小企業大学校等社外教育を活用し人材育成
都産技研等に相談し材料等評価の知識獲得
- ④開発総合支援サービス・製造サービスをスタートアップ企業に強くアピールするようホームページをリニューアル
- ⑤顧問弁護士との契約

これから